

# 羊水のぬくもり



2015年は、未(ひつじ)。  
羊と言えば、「**マーヤ**」 \ (^o^)/

羊プラセンタを原料としてマーヤをつくったのが、今から6年前。  
コンセプトは「**羊水のぬくもり**」

ストレス社会、競争社会、格差社会がもたらすものは、  
「不安」「恐怖」「劣等感」「怒り」「自信喪失」といったマイナス思考。

そうしたマイナス思考の感情が体に影響して(自律神経やホルモンバランスを乱して) 小さな体調不良から大きな病気になっていきます。

ところで、人が一番安心できる場所はどこだと思いますか？

「家、ですか？」

確かに「家」はくつろげる場所であり、そのための家、家族なはずですが現実はどうでしょう？

夫婦ゲンカ、家庭内暴力、幼児虐待、酒乱、借金、引きこもり・・・

「病は家族から」の一面もあります。

マイナス思考の大半は人間関係から生じますから、安心感というのは基本、

「自分の居場所」「一人になれる空間」があることが前提です。

ゆっくりできて、他人に気を使わずに、安心して目を閉じて、眠れる場所。

「棺桶、ですか！」

確かに棺桶の中は自分の居場所がはっきりしてて、一人になれて、ゆっくりと安心して目を閉じれる場所ですが(笑)

生きている間で、人が共通して、最上に安心できた場所があったのです。

記憶にない人、忘れた人がほとんどですが、みんな10ヶ月間はそこに居た。

ぽかぽか～の羊水のぬくもりの中で、ぷかぷか～～と浮いていた。

「母親の子宮の中ですか！！」

ピンポ～ン！正解です \ (^o^ ) /

「でもどうやって、子宮の中に戻るんですか？ いまさら70過ぎた母親の子宮の中には戻れないし、戻りたくもないですよ！」

母親から産み落とされた瞬間から、もうそこに戻ることはできません。

羊水も、胎盤（プラセンタ）もいっしょに外界に出てくるのですから。

『羊水のぬくもり』『包み込む安心感』

出生後は、自分自身でつくっていくのです！

たまに、こんな親御さんの愚痴を耳にします。

「うちの息子はもう何年も帰省していないんですよ！ホント、息子なんか親の心子知らずで、親不孝ばかり。嫁の言いなりになって、嫁の実家にはよく顔出しているみたいで。あ～～娘が欲しかったわ～～」

年末年始やお盆にも実家に顔を出さない息子。  
果たして、「とんでもない親不孝者」なのでしょうか？

ぜひそんな愚痴をもらしている親御さんに考えていただきたいのは、  
「なぜ、息子が顔を出さないのか？」です。

子どもが顔を出さない、口を聞かないのは  
親に、家の中に、『安心感』『笑顔』がないからでは・・・？

家に帰れば、親の文句、愚痴ばかり聞かされる。相変わらずの夫婦ゲンカ。  
それで実家に帰りたと思うほうがおかしいのでは・・・？

人は例外なく『**安心できる居場所**』を求めます。  
それは、「素の自分」が出せる場所。

「いつもお疲れさま」「よく頑張っているね」「ゆっくりして行ってね」  
素の自分を肯定してくれる場所。自分を労って、思いやってくれる場所こそが  
『安心できる居場所』です。

健康で幸せな家族には、そうした相手に対する「思いやり」があります。  
疲れ果てて下を向いている家族がいれば、安心感のベールで包んであげる。  
「大丈夫、失敗は誰にでもある。また頑張ればいいんだよ」  
ダメ出しではなく、励ましてあげる。

そのためには・・・  
家族全員が、『**羊水のぬくもり**』『**包み込む安心感**』を持つこと。  
あったか～い人間になること。あったか～い家族をつくっていくこと。  
それに努力して生きていくことですね。

ぽかぽか～～　ぷかぷか～～～  
あったか～いお風呂は、誰でも気持ちいいですよ

さて、我が家はというと・・・

今年の正月も家族全員で楽しく過ごしました。

率先垂範、太田東西こそが『羊水のぬくもり』『包み込む安心感』を一番に持っていないと、ですね！

そのために「マーヤ」つくったんですから(\*´ `\*)

落ち込んでいる人を、ぽかぽかの羊水で温めて、やわらかい子宮で包み込む。そんな『母性』を普及させるために、「マーヤ」を“出産”したのですから。

この羊の親子のように・・・



2015元旦

東京で頑張っている息子らを『羊水のぬくもり』『包み込む安心感』で満たしてあげました～～～



「ゲゲッ～、先生と息子さん、そんな仲だったんですかっ！！!(汗)」

違いますって！！！！ マーヤを6年間、欠かさずに飲んでいると『母性』があふれて、吹き出しちゃって、こんなことに・・・(;´ `)